

近況のご報告

第3期 OG 酒巻 恵子
(旧姓：小林)

早いもので社会人生活も4年目となり、私の身の回りにも様々な変化がありました。昨年結婚というひとつの節目を迎えたため、特に変化の多い年となりました。この度、OB・OG会誌への寄稿を機に、皆様に近況のご報告をさせていただきます。

■ 予想外の相手と予想外の結婚

「えーっ、結婚するの?!」と何度驚かれたことか。小野ゼミの同期を含め、友人・知人の反応は「まさか小林が(先に)結婚するとは…」というものでした。

出会いは2006年4月、某得意先にて。お互い意識することなく、競合メーカーとして火花を散らしていたものの、2007年4月にあちらの転職がきっかけでお付き合いがスタート。翌年の2008年6月には入籍し、9月に結婚。二人ともせっかちな性格ではありますが、まさかこの人とこんなに早くに結婚するとは、自分でも想像していませんでした。共通の知人も、結婚報告に皆絶句。今思えば、お互いのことをあまり知りもしないのに、よく結婚したなあと思います。



結婚式にて

■ 甘〜く幸せな結婚生活

…と言ってみたいものですが、実際は結婚前とたいして変わっていません。独身の頃と最寄り駅も同じ、家具や電化製品もほとんど同じ、仕事上の名刺も同じで、あまり環境が変わっていないせいでしょうか。今は二人だけの生活ということもあり、結婚生活は想像していたよりもいたって普通でした。

結婚してよかったことは、家に帰れば話し相手がいるので日常の中で仕事の息抜きができること、おもしろい友人や家族・親戚が増えたこと、二人で分担することでたまには家事をサボれること等々。熱々ホヤホヤの新婚さんとは程遠いですが、なんとか楽しくやっております。ただ逆に、最近はずっかりオールができなくなり、終電帰りを余儀なくされている点では、若干の窮屈さを感じていますが…、我慢我慢!

■ 仕事 vs. 家庭

仕事と家庭の両立は、会社ともパートナーともお話し合いが必要なものなのですね（女性に限らず男性もそうだと思いますが）。実感しました。これから先、もっと実感するのでしょうか。

結婚を機に、仕事とプライベートのバランスを考えることが増えましたが、現時点では仕事も家庭も両方大切です。できれば、仕事にも家庭にも支障が出ない範囲で、極力長く働きたいと思っています。

今私は食品メーカーで量販営業の仕事しておりますが、仕事の性格上なのか、女性の割合は1割程度で既婚女性はほぼ皆無、まだまだ女性比率が低いのが現状です。バリバリの営業マンとしてキャリアアップし続けていく自信は正直ありませんが、仕事中心の生活ではなく生活の一部として仕事を捉え、自分に合ったスタイルで働いていけたらと思います。そのために、「家事と育児は仲良く分担」洗脳作戦を今から少しずつ実行しているところです。



新婚旅行（メキシコ）にて

■ 小林の個人的な家訓

いくら好きで結婚したからといっても、これまで違う環境で育ってきた二人が同じ屋根の下で暮らすとなると、全てがうまくいくわけでもなく。些細なことでイラっとすることが、しょっちゅうあります。とは言え、結婚したからにはこれから長〜い間人生を共に歩いていくことになるので、できるだけお互いが楽に暮らせるためにも、基本的なことを忘れないように心がけています。私は元々わがままで自分勝手な節があるので、つつい頭から抜けてしまいがちですが、今もこの先も初心忘れるべからず！

～その1～

自分が相手にされて嫌なことは、自分も相手にはしない。

逆に、相手にして欲しくないことでも自分がしたいことであれば、妥協して渋々許す。

～その2～

「思いやり」と「お互い様」を忘れずに。

前者は卒業時に我らが中村電論代表が、後者は結婚式の祝辞で上司が教えてくれました。

～その3～

人間違うのが当たり前。その違いをおもしろいと感じられるような余裕を持つ。

自分の中の当たり前を相手に感情的には押し付けず、きちんと説明して分かってもらう。

一緒に暮らしていく中では、お互いがお互いの自分とは異なった習慣に歩み寄り、一方で自分の習慣を捨てていき、二人でひとつの習慣をつくっていくことが大切だそうです。いや、本当にそう！しかし、これがなかなか難しい。気長に頑張ります！

■ おまけ：最近の悩み・心配事

- ◎ 社内外問わず、実年齢よりも老けて見られることが増えました。態度が大きいです。
- ◎ 4月1日付の人事異動が心配です。もしどちらかが異動となれば、1年も経たないうちの引越しとなるので、またお金がとんでゆきます。単身赴任はできれば避けたい…。
- ◎ 会社の健康診断で γ GDPが高いと指摘され、再検査を受けました。原因は職業柄のお酒ではなく、まさかのチョコレートだそうです。気が付けばそろそろアラサー世代、皆様もお気を付けください。



ゼミ生に囲まれて